

牟岐小学校
「学力向上実行プラン」

研究テーマ

みんながつながり 力をつける学校をめざして
～主体的・協働的に学び、進んで問題解決を図る子どもの育成～

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員 岸本直子
委員 校長 今津久仁 教頭 清田朝美 教務主任 西俣聡子
研修主任 天羽信子

校長 今津久仁

(1)基礎的・基本的な知識・技能の習得

| 児童生徒の状況 | 具体的目標(目指す子供の姿) | 成果指標 | 中間期の見直し | 取組状況 | 達成状況 |
|--|--|--|---------|-------------------|------|
| よさ 昨年度の漢字テスト正答率は90%、計算テスト正答率は80%であった。「話す・聞く・読む・書く」の到達度目標B評価の児童が80%以上の目標は、ほぼ到達できている。 | ①漢字や計算などの基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付けることができている。 ②校内で作成した『学びのプラン』に示した「話す」「聞く」「読む」「書く」の到達度目標を達成できている。 | ①漢字や計算の月末テストの正答率80%以上の児童を80%以上にする。 ②「話す」「読む」「書く」の到達度目標B評価の児童を80%以上、「聞く」の到達度目標B評価の児童を85%以上にする。 | | | |
| 課題 基礎的・基本的な知識・技能の習得に個人差があり、実際の生活の中で、習得したことを活用できていない。大事なことを聞き取り、自分の考えを書いたり話したりすることが苦手な児童が多い。 | 具体的方策(教員の取組) ①朝の活動に漢字・計算・読解の時間を設定し、継続的に学習をする。 ②各教科等における問題解決的な学習を行うとともに、「話す」「聞く」「読む」「書く」活動の充実を図る。 | 取組指標 ①朝の活動の15分間を確保する。 ②『学びのプラン』にある指標をもとに、年2回評価する。 | | 評価 次年度における改善事項 | |

(2)知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成

| 児童生徒の状況 | 具体的目標(目指す子供の姿) | 成果指標 | 中間期の見直し | 取組状況 | 達成状況 |
|---|---|---|---------|-------------------|------|
| よさ 学習に見通しを持ち、積極的に取り組む児童が多い。体験活動に意欲的に取り組むことができ、探求的な学習活動に取り組める。 | ①目的に応じて、根拠や理由を明らかにしながら、自分の思いや考えを様々な表現方法で伝えることができる。 | ①児童アンケートで、「根拠や理由を明らかにしながら、自分の思いや考えを様々な表現方法で伝えることができる」児童の割合を80%以上にする。 | | | |
| 課題 自分の考えを根拠や理由を明らかにしながら進んで話したり、様々な表現方法で伝えたりすることが苦手な児童が多い。問題解決を図るために、情報を整理し、まとめたり伝えたりする力に課題がある。 | 具体的方策(教員の取組) ①話し合いの手引きを活用して、ペアやグループでの話し合いを積極的に取り入れ、児童相互の意見を交流させ、自分の考えを深めさせる。 ②様々な教具を活用し、自分の考えを分かりやすく伝える方法を指導する。 | 取組指標 ①1日1回は、自分の考えを話し合う機会を取り入れる。 ②年3回の教員アンケートにおいて、充実した指導の割合を100%にする。 | | 評価 次年度における改善事項 | |

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

| 児童生徒の状況 | 具体的目標(目指す子供の姿) | 成果指標 | 中間期の見直し | 取組状況 | 達成状況 |
|---|--|--|---------|-------------------|------|
| よさ 家庭学習において、宿題の提出はほぼ達成できている。自主学習では、自分の苦手な課題について、意欲的に学習する児童が増えてきた。 | ①学習に積極的に取り組み、学習する楽しさや喜びを感じることができる。 ②読書を楽しむ習慣を身につけ、学校だけでなく家庭でも本や文章を読むことができる。 | ①「授業が楽しい。(またはわかる。)」児童の割合を80%以上にする。 ②「読書手帳」を活用し、下学年は年100冊以上、上学年は年50冊以上読破する。 | | | |
| 課題 身近な生活の中から課題を見つけ、全体で共有し問題を解決していく力が育っていない。読書タイムの実施により学校では読書をする児童が増えてきたが、家庭では読書時間が少ない。 | 具体的方策(教員の取組) ①「めあて」を明確にし、児童が主体となって活動する場面を多く取り入れた授業を展開する。 ②「読書手帳」に、題名や感想を記録させ意欲を持たせる。町立図書館と連携を図り、読書環境を充実していく。 | 取組指標 ①「ふりかえり」をし、めあてを達成できた児童の割合を80%以上にする。 ②家庭でも親子読書や新聞感想文などの課題に取り組み、本や新聞を読む機会を増やし、読書に意欲を持たせる。 | | 評価 次年度における改善事項 | |

平成31年度 学力向上ロードマップ

